

平成 29 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名 初 穂 商 事 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 齋 藤 悟
(J A S D A Q ・ コード 7 4 2 5)

問 合 せ 先

役 職 ・ 氏 名 経 営 管 理 室 長 成 田 哲 人
電 話 052 - 222 - 1066 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成29年12月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,500	116	147	89	109.35
今回修正予想（B）	8,582	151	183	107	131.25
増減額（B-A）	82	35	36	18	
増減率（%）	1.0	30.7	24.8	20.8	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成28年12月期第2四半期）	8,210	113	143	82	100.99

（注）当社は、平成29年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

修正の理由

当第2四半期累計期間においては建設需要の停滞感が目立ち、荷動きが鈍い状態が続いておりましたが、ALC（軽量気泡コンクリート）工法の建築物が普及した事により、ALC 金具副資材部門の売上及び利益が増加し、関東地区と九州地区における建設需要が好調に推移した事が、主力の軽量鋼製下地材・不燃材部門の売上及び利益両面に寄与しました。また、運転手不足により上昇傾向にある配送コストについて、受注事務や配送ルート効率化を進めた事で利益獲得に貢献し、営業利益及び経常利益、四半期純利益において、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期業績予想につきましては、直近の鋼材価格が上昇している局面において、販売先への価格転嫁の対応に時間を要し、利益率の圧迫要因となる事が今後見込まれる為、現時点では当初予想からの変更はありません。今後の業績動向により修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

（注）上記の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以上